

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号		担当部課	企業部 水道課								
事務事業名	浄水場整備工事										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	1	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P90 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推 進	① 上水道の整備
関連する個別計画					
目的	安全かつ安定した水道を供給し、町民が信頼し続ける水道を目指すため、必要な整備を実施する。				
対象	町民等町営水道利用者				
内容	より安全かつ安定した水道水を供給するため、施設整備計画に基づき、浄水場の施設整備を実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	269,545,500	19,839,600	134,547,000		
	人件費	常勤職員	17,173,009	6,904,001	14,322,000	
		非常勤職員等				
		人件費合計	17,173,009	6,904,001	14,322,000	
	総事業費	286,718,509	26,743,601	148,869,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	258,600,000		100,000,000		
	その他特定財源					
	一般財源	28,118,509	26,743,601	48,869,000		
財源合計	286,718,509	26,743,601	148,869,000			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
浄水場整備	浄水場4箇所を順次整備	箇所	1	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 安全で安心かつ安定した水道を供給するためには、町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 浄水場の施設及び設備等を整備することで、より安全で安心かつ安定した水を町民に供給できる。給水収益の減少傾向だが整備しなければならない。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 安全で安心かつ安定した水が供給できている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 浄水場整備をすることで、町営水道利用者が、安全で安心かつ安定した水を使用することができる。

平成26年度までの改善点	安全かつ安定した水道を供給できるよう、湯河原町水道ビジョン並びに水道事業整備計画を策定した。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	継続して安心かつ安定した水道を供給できるよう、計画的に浄水場の整備を実施する。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	安心、安定及び持続的な水道事業を維持するため。
------	----------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・事業収益の増加が見込めない中、整備計画の見直しや広域経営を検討すべきと考える。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・安心、安定及び持続的な水道事業を維持するため現状維持とする。
------	----------	---------------------------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号		担当部課	企業部 水道課								
事務事業名	配水管整備工事										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P90 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推 進	① 上水道の整備
関連する個別計画					
目的	安心かつ安定した水道を供給し、町民が信頼し続ける水道を目指すため、必要な整備を実施する。				
対象	町民等町営水道利用者				
内容	老朽化した配水管を布設替え整備することで、有収水量率の向上を図り、水道事業経営の健全化を推進する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	26,084,100	31,910,976	26,632,000		
	人件費	常勤職員	1,756,330	10,995,262	2,813,250	
		非常勤職員等				
		人件費合計	1,756,330	10,995,262	2,813,250	
	総事業費	27,840,430	42,906,238	29,445,250		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	21,000,000	34,900,000	18,600,000		
	その他特定財源					
	一般財源	6,840,430	8,006,238	10,845,250		
財源合計	27,840,430	42,906,238	29,445,250			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
配水管整備延長	老朽管等の布設替え	m	519.0	596.5		
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
有収水量率	漏水等の減少により向上	%	82.7	78.5	100.0	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 安心かつ安定した水道を供給するためには、町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 配水管を整備することで漏水等が改善され、有収水量率が向上し、費用に見合った収益が得られるなど、効率のよい水道事業運営ができる。給水収益の減少傾向だが整備しなければならない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 漏水補修工事が減少している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 配水管を整備することで、町営水道利用者が、安心かつ安定した水を使用することができる。

平成26年度までの改善点	随時、漏水調査を実施している。
--------------	-----------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	計画的に老朽管の布設替えを実施する。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	漏水の防止及び耐震性を考え、安心かつ安定した水道水を供給するため。
------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・事業収益の増加が見込めない中、整備計画の見直しや広域経営を検討すべきと考える。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・漏水の防止及び耐震性を考え、安心かつ安定した水道水を供給するため現状維持とする。
------	----------	---

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号		担当部課	企業部 水道課								
事務事業名	固定資産購入										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	3	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P90 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推 進	① 上水道の整備
関連する個別計画					
目的	安全かつ安定した水道を供給し、町民が信頼し続ける水道を目指すため、必要な整備を実施する。				
対象	町民等町営水道利用者				
内容	老朽化した配水池等の機械、装置及び器具等の交換・購入することで、安全かつ安定した水道を管理、供給する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)		
	事業費	7,444,500		19,558,290		70,140,000	
コスト 人件費	常勤職員	390,295		6,648,298		7,416,750	
	非常勤職員等						
	人件費合計	390,295		6,648,298		7,416,750	
総事業費	7,834,795		26,206,588		77,556,750		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債					70,000,000	
	その他特定財源						
	一般財源	7,834,795		26,206,588		7,556,750	
財源合計	7,834,795		26,206,588		77,556,750		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 安全で安心かつ安定した水道を供給するためには、町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 老朽化した機械、装置及び器具等の交換・購入することで、より安心で安定した水を町民に供給できる。給水収益の減少傾向だが整備しなければならない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 安全で安心かつ安定した水が供給できている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 老朽化した配水池等の機械、装置及び器具等の交換・購入することで、町営水道利用者が、安全で安心かつ鑑定した水を使用することができる。
平成26年度までの改善点	安全で安心かつ安定した水道を供給できるよう、湯河原町水道ビジョン並びに水道事業整備計画を策定した。	

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	継続して安全で安心かつ安定した水道を供給できるよう、計画的に老朽化した配水池等の機械、装置及び器具等の交換・購入を実施する。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	・安心、安定及び持続的な水道水の給水が必要なため、現状維持とする。
------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号		担当部課	企業部 水道課								
事務事業名	メーター費										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	4	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P90 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推 進	① 上水道の整備
関連する個別計画					
目的	正確な使用水量の把握をすることにより、水道利用者に対し明瞭な水道使用料を賦課する。				
対象	町民等町営水道利用者				
内容	量水器の長期間使用に伴い、計量の正確さや構造等に変化が生じる恐れがあるため、定期的(8年毎)交換の実施及び新たに上水道を使用する際の水量の把握。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)		
	事業費	3,087,470		2,906,940		10,712,000	
コスト 人件費	常勤職員	195,147		1,022,815		1,023,000	
	非常勤職員等						
	人件費合計	195,147		1,022,815		1,023,000	
総事業費	3,282,617		3,929,755		11,735,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	3,282,617		3,929,755		11,735,000	
財源合計	3,282,617		3,929,755		11,735,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
量水器交換	量水器の交換を順次行う		個	1,623	1,755		
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	正確な使用水量の把握をする。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	正確な使用水量の把握により、明瞭な水道使用料の賦課ができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	正確な使用水量の把握ができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	順次交換を行っているので、正確な使用水量の把握により、すべての水道利用者に明瞭な使用料の賦課ができる。

平成26年度までの改善点	平成25年度から真鶴町と量水器の共同購入を実施し、量水器の購入価格の軽減を図っている。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	量水器の交換は計量法で規定されていることもあり、正確な使用水量の把握のために定期交換は今後も実施する。また、真鶴町との共同購入を継続し、事業費の軽減を図る。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	法的規定があること及び水道使用量を正確に把握し、水道事業計画に反映させるため。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・法的規定があること及び水道使用量を正確に把握し水道事業計画に反映させる必要があるため、現状維持とする。
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月22日作成

事業番号		担当部課	企業部 温泉課			
事務事業名	湯河原町温泉事業					
予算科目コード	会計	款	項	目	事業開始年度	昭和 31 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P38 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営
関連する個別計画					
目的	温泉資源の保護、有効利用に取組み、経営の合理化を図る。				
対象	温泉施設利用可能な町民				
内容	温泉配湯事業				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	154,939,311	156,426,629	171,869,000		
	人件費	常勤職員	61,226,393	49,824,456	51,731,000	
		非常勤職員等			400,000	
		人件費合計	61,226,393	49,824,456	52,131,000	
	総事業費	216,165,704	206,251,085	224,000,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	216,165,704	206,251,085	224,000,000		
財源合計	216,165,704	206,251,085	224,000,000			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
給湯戸数			件	272	件	260
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
給湯量		料金収入に直接影響	m ³	656,074	m ³	648,852

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	温泉の安定供給と資源保護を目的としており、個人や民間で行う事案でない。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	目にみえる効果(消費電力や電気料など)のほか、ある程度の年数がたたないと(管路の改修など)判断しかねるものがある。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	いかにして、新規の給湯戸数を確保するかが今後の経営の上での重要事項となってきた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	温泉を利用できる区域に居住している町民に対しては受益の機会は均等である。

平成26年度までの改善点	町内5か所のサービランス、ポンプ場のうち、4か所の施設の制御盤及び機器の更新を行った。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	送配湯管の改修と残り1か所のサービランスの制御盤等の機器の更新
平成28年度以降の方向性	既存の弁筐(断湯弁、排泥弁)の交換やタンクの屋根の補修また、新規の配湯先として熱海市泉地区への供給について熱海市と協議する。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町以外では運営が困難なため
------	----------	---------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・事業収益の増加が見込めない中、今後の経営方針を検討すべきと考える。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・町以外では運営が困難なため、現状維持とする。
------	----------	-------------------------